

びわ湖の東から

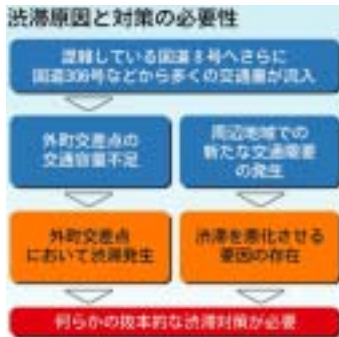
〒522-0071 滋賀県彦根市元町 4-1 Tel 0749-23-3511(代表) Fax 0749-23-3531
 湖東地域振興局 建設管理部 Email ha3402@pref.shiga.jp URL http://www.pref.shiga.jp/h/h-doboku/

外町交差点周辺の渋滞対策 住民参画を得て検討に着手

彦根市外町地先の国道 8 号と国道 306 号、主要地方道彦根近江八幡線の交差点(外町交差点)は、1 日に 4 万台以上の車両が通過する、湖東振興局管内でも有数の渋滞地域です。

当建設管理部ではこの渋滞の緩和をはかるため、住民参画による検討委員会を組織して検討に着手しました。

委員会は立命館大学理工学の塚口教授を委員長に、地域や利用者の代表、公安委員会、JH、彦根市などの関係者で組織し、渋滞対策の検討を行います。



第 1 回の委員会は 11 月 12 日に開催され、交通流シミュレーションにより渋滞の状況とその原因が確認されました。また 1 月 8 日の第 2 回の委員会では現道拡幅、立体交差、バイパスなど 12 の対策案が立案され、さらにそこからの絞り込み作業が行われました。

3 月 18 日には第 3 回委員会が開催され、バイパス案を基本とすることが決定されました。

検討の経過は広報誌「外町クロス」を発行して広く広報しています。第 3 回委員会の状況は近日中に発行する予定です。詳しくは建設管理部道路計画課改良計画担当までお問い合わせ下さい。

現道拡幅案

立体交差案

バイパス案



多景地区の湖岸砂浜再生に着手

自然な砂浜を呼び戻すために

琵琶湖の湖岸は、河川から供給される土砂や湖岸に打ち寄せる波などが長い年月をかけて砂浜やヨシ原を形成していました。しかし高度成長期に機能を優先した施設を設置したことにより、湖辺の一部がコンクリート構造物や消波ブロックなどで覆われ、琵琶湖の持つ自然環境が損なわれていました。

当建設管理部では彦根市多景地区(八坂町、須越町、三津屋町)について、本来の自然な湖岸を取り戻し、砂浜を復元するため、平成9年度より湖岸再生事業に着手しており、今年度八坂町地先の工事に着手しました。



砂浜の再生

砂浜は、琵琶湖に流れ込む河川からの土砂が湖岸沿いに運ばれ堆積したものです。しかし河川からの土砂供給の減少や防波堤等の湖岸施設の設置など、様々な要因によって安定した砂浜の維持が難しくなっています。そこで、安定した砂浜をつくるために突堤を設置し、砂の流れを止める工夫をします。突堤は周辺の景観を損なわないよう自然石などを用います。

【砂浜】

- ・治水機能の向上
- ・親水性の向上



彦根多景地区

基本方針●砂浜の再生



彦根多景地区の現状



お知らせのページ

今冬の除雪状況

今年の冬は長期予報通り概ね暖冬でしたが、1月13日夜からの大雪は彦根市内で約20cm、多賀町大君ヶ畑地先では75cmもの積雪となりました。翌14日は管内のあちこちで動けなくなった車両等により交通に支障を来しました。また特にこの雪はほぼ一夜で降り積もったことから、雪の重みで樹木の枝が折れ、道路上に散在する結果となりました。

当建設管理部での除雪対策は右表の通りでした。

除雪出動日数	11日
凍結防止剤散布日数	19日
除雪費用(概算)	2,600万円

国道307号整備の検討に着手

国道307号は彦根市から大阪府枚方市に至る総延長104.5kmの国道で、地域の生活に密着し、また、湖東三山などの観光資源の発展にも欠かすことのできない重要な道路です。

昭和45年に国道に昇格し一次改良が進められてきましたが、当時と比べて交通量が増加し、特に秦荘町上蚊野地先から湖東町を経て愛東町池尻の間は道路幅員が狭く、歩道の設置区間も少ないうえ人家中を通過していることから、抜本的な道路の整備が求められていました。

このため、去る2月28日に湖東町農村環境改善センターで関係集落の代表者と、今後の道路整備にあたっての検討会を開催し、今後の整備の方向性について活発な意見が交わされ、貴重な意見をいただく機会となりました。

平成16年度には、学識経験者や地元代表、関係機関からなる検討会を設けて、整備の方向性、概略ルート、基本的な道路構造などについての本格的な検討に着手する予定をしています。



307号の現状



検討会での討議状況

大杉川砂防工事に着工

犬上川南流の支川である大杉川では、皆さんの記憶にも新しいかと思われる平成2年の台風19号の際に、約10,000m³の土砂が山から流れ出し、河道のほとんどが埋まってしまうほどの土砂災害が発生しました。

このような土砂災害を防止するため、大杉川の上流に土石流対策の砂防堰堤築造工事に着工しました。平成17年度に完成する予定です。



平成2年の被災状況

川のほとんどが土砂で埋まり、一部が道路に溢れ出しています。

シンポジウム「望まれる公共事業への住民参画とは」

「私たちは、こんな道、こんな川が欲しい。」

3月14日(日)の午後、県土木交通部主催によるシンポジウム「望まれる公共事業への住民参画とは」が彦根市内で開催されました。

当日は約80名の参加者を前に、嘉田由紀子氏(京都精華大学教授、琵琶湖博物館顧問)の基調講演と、いろいろな立場の方をパネラーに迎えてのパネルディスカッションが行われ、様々な視点から住民参画の必要性とこれからの公共事業の進め方について議論が交わされました。



県営住宅入居者募集

県営住宅の入居者募集が右の期間の行われる予定です。詳しくは湖東地域振興局建設管理部総務経理課までお問い合わせ下さい。

Tel 0749-27-2241

第1回県営住宅入居者募集
受付期間

平成16年5月7日～5月18日

湖東見どころ紹介

いよいよとことう
～彦根城 桜祭り～

彦根城と桜

年間数十万人の方が訪れる彦根城は桜の開花を間近に控えています。例年は3月下旬～4月中旬が桜の開花時期で、城内ではこの時期に彦根城桜祭り(4月1日～20日)が開催されます。

現在では彦根城にあって当然のように思われている桜ですが、江戸時代のものではなく、昭和の初期に市民により植えられたそうです。ソメイヨシノを中心に1,300本の桜が満開の日を待っています。

彦根駅側からいろは松の横を通り抜け、城内へ至る際に内濠を渡る表門橋も3年間の復元工事を終え、桜祭りに先立つ2月に開通しています。

穏やかな天候が続き、春の訪れを肌で実感できるこのごろです。今年の春は彦根城での花見から始めてみませんか。

なお、桜祭りの期間中は城内への車両の通行が制限されます。お越しの際には最寄りの公共交通機関のご利用をお願いします。休祭日であれば当振興局の駐車場も利用可能です。



編集後記

情報誌「びわこの東から」も第2号を発行することが出来ました。土木交通行政の情報発信を目的として今年度より取り組んだ本誌ですが、至らぬ点が多々あるかと思われま。皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております。